

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 響	代表者	井上和弘	法人・事業所の 特徴	27年6月に開設した事業所です。2階にサービス付き高齢者住宅を19床併設しており、住宅、在宅と生活スタイルに応じた支援を目指しています。医療との連携を重視しており、看護師常在はもちろん、24時間医療と連携ができる体制を整えています。
事業所名	小規模多機能ホーム 三町	管理者	村田佑妃		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	2 人	1 人	0 人	1 人	0 人	4 人	0 人	9 人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関わりシートの内容について、日頃の職員会や会議を通して、議論のテーマとして活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月の目標に設定して、職員会にて反省、振り返りを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と関わる面で、共有ツールはあるものの活用しきれておらず、共有すること、知ろうとする姿勢が大切。また、地域との関わりでは、行事や認知症カフェを通して少しずつ増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画の各項目に対して、目標を立て職員会にて振り返る。 その取り組みに対して、運営推進会議にて報告し意見を募る。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境はよくなってきたが、誰が来ても気持ちのいい環境づくりをする。 季節を感じられるよう、季節ごとの植物を育てる等取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごとの壁紙づくりや、イベント時の飾りつけを心がけ積極的に行っている。 利用者に生け花をしてもらい飾ったりしている。 イベント時のアンケートでは、清潔感があるという意見が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の飾りなど、よいと思う。 玄関の鍵はいつも開いているのか？→以前、認知症の方が一人で出たことがあることと、交通量が多い道路がすぐにあるため、施錠は常時しているが、来客時はすぐに開けたり対応するよう心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 三町オレンジCAFÉ心音等を通して、誰でも気軽に集え、地域の拠点となるような働きかけを行っていく。 整理整頓を心がけ、誰が来ても気持ちのいい事業所を心がける。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関わりが増えるよう、認知症カフェの取り組み等、働きかけていきたい。 事業所の場所が分かりやすくなるよう工夫する。(パンフレットの見直し) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や家族の方から相談を受けた。 三町オレンジCAFÉ心音をオープンし、たくさんの方に来店してもらっている。 事業所の目印となる看板を現在作成中。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏祭りなどの行事に地域の方がたくさん参加して頂けた。ボランティアも来てくださっている。 いつも気持ちのいい挨拶をしてくださっている。 近隣の方とも挨拶をしたり、立ち話をしたりして交流が持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が地域に根付いた施設となるような働きかけをしていく。(心音にもっとたくさんの方に来ていただけるよう、周知していく。)(こちらから出向いて行く。)

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> •本人の行きたい、したいことを情報収集し、地域との接点を持てるように支援していく。 •町内会へ入会し、地域の行事へ参加し関わりを増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> •三町では様々な外出計画を立てて、利用者の行きたいところへ出かけている。 •近くのいきつけのカラオケに遊びに行ったり、ボランティアでドッグセラピーが来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> •地域の防災訓練に利用者と参加した。 •心配な方に関わるということではできていないのではないか？→介護保険サービスの相談に来ることはあるが、事業所から出向いていくことはできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> •社会資源について話し合う機会を持つ。 •情報収集を行い、地域の行事等に参加していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> •スタッフが参加できるよう調整し、内容を多様にしていく。 •また、地域の方など様々な方に参加して頂けるよう働きかけていく。 	<ul style="list-style-type: none"> •運営推進会議で頂いた意見を、参考に運営させて頂いている。 •研修の報告をしたり、行事報告等で取り組みを説明させて頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> •スタッフがなるべく参加できるよう、また、家族へも参加をお願いした。 •「会議」というと、堅苦しく参加しにくいイメージがあるのではないかな。 •他事業所の運営推進会議に参加して、とても感銘を受けた。 	<ul style="list-style-type: none"> •運営推進会議にご家族や、地域の方も参加できるように工夫をする。（内容やテーマを多様にし、参加しやすいものにしていく。） •他事業所の運営推進会議に積極的に参加していき、参考にしていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> •事業所の防災計画を見直し、家族や地域の方にも配布し、周知していく。 	<ul style="list-style-type: none"> •防災マップを掲示し、通りすがりにスタッフや、利用者、家族等が見ている。 •公民館の防災訓練に参加したり、職員会で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> •訓練をしたという報告はあったが、内容の詳細が分からないため、報告してほしい。 •月の目標に設定して、日頃の防災を意識した。また、利用者との防災について話した。 •いざ、本当に起こったらと思うと、不安がある。常に意識していないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> •防災訓練を日頃から、いろいろな想定で行っていく。 •炊き出し訓練を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
-------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	12	3	2	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前の情報収集が少ないため、利用全の病院やケアマネージャーより収集を行う。 ・フェイスシートはあるが、内容が薄いため情報量が少ない。 ・スタッフ一人一人が日々の関わりの中で情報を収集し、スタッフ間で共有していく。(介護面と看護面の両側面から)
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報量はまだまだ少なく、共有ツールはあるが活用しきれていない。 ・もっと、スタッフの知ろうとする姿勢と、知ったことを共有していくことが必要。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	14	1	0	18
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	12	3	1	18
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	14	2	1	18
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	4	2	18

できている点	200字程度で、できていること、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼、申し送り時や、申し送りノート、利用者の個人ファイルにて情報を確認し共有している。 ・家族面会時に新たな情報を聞いたりしている。 ・利用開始時は、なるべく寄り添い関わる時間を作り、不安の軽減や情報収集に努めている。また、利用者同士の関係づくりに努めたり直接困ったことや不安を聞いたりしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないこと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・時間に余裕がなく、利用者家族の意見を聞いたり関係づくりができなかった。 ・本人が必要としている支援が把握できていない。 ・個人ファイルに情報を綴じているが、全員に情報が共有できているかはわからない。見る人、見ない人の差がありスタッフの意識が薄い。 ・日々の業務で忙しく、慣れていない時期の声掛けがあまりできていなかった。 ・申し送りノートがうまく活用されていないことがあり、全員が同じ認識で徹底する必要がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・慣れていない時期の支援として、細かい情報を引き継いだり、もっとスタッフから寄り添う姿勢を大切にする。 ・共有ツールを活用しやすいものに変化していき、利用開始してからの記録を詳細にする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
---------------------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	7	9	2	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の声にならないしたいこと、やりたいことの本心を把握しきれていないのではないか。 ・日々の関わりの中で見つけていき、～したいの実現に繋げていけるように支援していく。 ・意思疎通困難な方への配慮も心がけていきたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・本人本位ではなく、スタッフ本位の支援になっている。 ・認知症の方のしたいことを聞き出すことは難しい時もあり、家族からの情報が大切になってくると感じた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	0	7	9	2	18
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	9	6	3	18
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	7	8	3	18
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	8	2	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族からお話を聞いたり、職員会等で話し合い理解できている。 ・本人が話したことを実行できるよう外出計画を立てたり、レクを行うよう努力している。 ・普段の何気ない会話の中から、本当の思いを汲み取るようにしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアする側の目標になってしまい、本人の目標ではないのではと思うことが多い。 ・意思疎通ができない方の把握ができていない。 ・人員不足、多忙でミーティングが不足している。 ・利用者の本当のゴールは理解しきれていない。できていても家庭の事情で叶えることが難しい現状がある。 ・ミーティングで自分の意見を発信できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・本人本位の視点を忘れないよう、本当の目標を探り、記録に残す。 ・ケアプランに目を通し、支援していることのズレがないか確認する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0	11	5	2	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 声にならない本人のしたいこと、やりたいことなどを日々の関わりの中で理解していく。 情報が集約されていないため、一人一人の支援をどうすればいいかわからないことがある。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 情報は一か所にまとめ、スタッフが書き足していけるようにしている。 知ろうとする姿勢が足りていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	9	6	18
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	13	1	0	18
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	6	2	18
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	14	1	0	18
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	14	1	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人に合わせた食事、入浴、排せつ介助ができています。 体調の変化には、スタッフ全員が意識して即時に支援できていると思う。 朝、夕の申し送り時に共有している。 利用者と1対1でコミュニケーションを図る時間を作っている。 排せつや食事量などを見て体調の変化に気付けるようになった。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 自宅での生活環境を理解できていない。 気づいた時に記録に残しておらず、本人の気持ちが共有できていない。 話しながらの方もいたりして、以前の暮らし方について普段の情報収集ができず、把握できていない。 情報収集しても全員に共有できていないことがある。 利用者本位の支援ができていない。 スタッフ一人一人が利用者向き合えていなかったり、知ろうとしていないからではないか。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> スタッフが協力して、1人ひとつずつ情報を収集をし、それを10人がすれば10個の情報が集まる。 基礎的な介護を各スタッフがスキルアップしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30～21:30)
------------------	-----	----------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山、石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
---------------	------	--

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	4	8	5	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の資源の把握、また、地域の資源が分かっていたため、様々な地域資源を理解し活用していけるようにする。 ・町内のイベントなどにも積極的に参加し、連携が取れるよう関係づくりをしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが入れ替わり、まだ地域資源が分からないというスタッフもいる。 ・町内のイベント自体が少なく、防災訓練くらいしか参加できていない。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	11	1	18
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	10	3	3	18
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	9	5	18
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	8	7	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・回覧板にて心音の案内をしている。 ・地域のドッグセラピーに来てもらっている。 ・町内のイベントに参加した。 ・在宅の方以外は普段の生活を把握しており、家族との関係づくりもできている。 ・認知症カフェの開催や、行事にはボランティアの方に参加してもらっている。 ・近隣の方への挨拶をしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との関わりが運営推進会議くらいしかなく少ない。 ・施設内で生活を完結させてしまっており、地域の資源の活用はできていない。 ・認知症カフェでも、近所の方の参加はあまりない。開催していることを知らないのでは。 ・勉強不足であり、地域に出向いての活動ができていない。 ・事業所からの働きかけがまだ足りず、少しずつは活用できていると思うが少ない。 ・地域資源が分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も町内のイベントへの参加を積極的にする。 ・地域資源について職員会等で勉強する機会を設ける。 ・様々な方との会話の中で、情報を収集し利用者の資源、活動や支援へとつなげていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30～21:30)
------------------	-----	----------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	15	1	1	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や申し送りノートの活用にて連絡、報告しているがスタッフ全員に共有しきれていないことがある。 スタッフ一人一人が意識して報告、連絡、相談を行い、柔軟な対応、支援につなげていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 申し送りの内容が多量であり、すべてを把握することは難しい。 スタッフが補い合ったり助け合ったりしながら日々の業務を行っている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	1	7	6	4	18
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	10	2	3	18
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	5	11	1	1	18
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	14	0	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 本人の状態や体調の変化等、朝礼や申し送りノート等で共有したり、上司に報告している。 利用者のその時その時の状態や、ニーズに合わせた支援が提供できている。 日々の状態の変化にも対応している。 松山市や地域包括センターと連携した対応ができている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 申し送りノートの内容をしっかり読み込めておらず、忘れていることがある。 外出があまりできておらず、地域の資源が活用できていない。 スタッフが活用の仕方を理解できていないから、地域の資源や本人のストレングスの活用ができていない。 本人のニーズに合わせた柔軟な対応が、介護する側の思い込みなどがあり、意識統一できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 地域の資源、本人のストレングスについて理解を深める。 日々の関わりや記録を大切にする。 スタッフが指摘したり、補い合いながら支援の統一をしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
----------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	7	3	5	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に入会し、今後様々な行事に参加していく。 ・町内会や運営推進会議に出席できるよう調整していく。 ・地域との関わりを持つという点で、今後認知症カフェの開催に向けて準備していき、地域が集える場所となるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・三町オレンジCAFÉ心音をオープンした。 ・夏祭りでは地域の方がたくさん来てくださった。 ・少しずつではあるが、運営推進会議への参加もできている。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	1	5	1	11	18
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	4	12	18
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	2	3	1	12	18
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	5	1	8	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議を定期的に行い参加できない場合は文書で情報提供を行い意見を頂いている。 ・訪問看護や、福祉用具等との意見や情報交換も適宜行えている。 ・行事等で地域の方にも事業所内を見てもらっている。 ・外部のイベントへの参加、心音や、季節のイベントにたくさんの方が参加してくださっている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・参加する立場にないから会議等に参加できていない。 ・ケアマネ対象の会議がほとんどで、包括主催の会議には参加できていない。 ・時間の確保ができず、いろんな事業所との会議に出席できていない。 ・地域の活動としてどんな行事があるのか職員間で共有できていないため、参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・三町オレンジCAFÉ心音を継続していき、たくさんの方に来ていただけるよう努力していく。 ・地域の活動を探っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30～21:30)
------------------	-----	----------------------------

7. 運営	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
-------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	9	3	3	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との協働した取り組みができるよう関わりを増やしていく。 ・地域の方が集える場所として認知症カフェの開催に向けて準備していく。 ・事業所のあり方をスタッフで考え、意識していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・三町オレンジCAFÉにて、近所のドッグセラピーやボランティアの紙芝居に来ていただいている。 ・小規模多機能という施設についての勉強会を行った。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか？	2	6	3	7	18
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	5	8	3	18
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	4	5	7	18
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	6	5	6	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェの開催ができている。 ・苦情等はそのたびに対応、検討して改善され、よりよい運営ができるようにしている。 ・一スタッフとしての意見や提案をしたり、地域の方の意見や苦情を反映している。 ・職員会、運営会を通して家族アンケート結果についての報告をしている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共同した取り組みが分からず、積極的に参加できていない。 ・事業所のあり方について考えることができおらず、意見が言えていない。 ・何でも言えるような環境作りができていないため、スタッフ一人一人の意見が聞き取れていない。 ・認知症カフェの参加を地域の方が参加して頂けるように、事業所から出向いて案内していく。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があった際には、早急に的確に対応する。 ・事業所のあり方について、意見が言える場面を増やしていく。 ・来年度も一層イベントを盛り上げていき、地域との接点を増やす。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
-----------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5	5	5	3	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修への取り組みは意欲的であるため、今後も継続していく。 リスクマネジメントも毎月の職員会にて検討したり、日々の生活の中でも報告、連絡、相談しながら取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 認知症実践者研修や、リーダー研修への参加も意欲的にスタッフが協力して実践できた。 できるだけ研修の参加を呼びかけ、参加した。 リスクマネジメントに取り組んでいるが、ヒヤリハット・インシデントは出ている。 積極的にヒヤリハット・インシデントをあげることがいいこと。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	7	5	2	18
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	8	4	18
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	5	10	18
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	8	0	7	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> リスク低減のために、考えられる危険に対し注意喚起をしている。 研修、勉強会等最低限のものへの参加はできている。 自発的に研修や資格取得に取り組んでいる。 研修報告を行い、共有することができている。 職員会で検討した結果を踏まえ、リスクマネジメントに取り組んでいる。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 時間が調整できず、地域連絡会へ参加できていない。 時間不足で資格取得にむけた取り組みができていない。 地域連絡会へ参加できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 年間の研修計画を立てる際に、それぞれのスキルアップしたい項目をアンケートして意欲的に取り組む。 リスクマネジメントについて日々の業務の中で意識し、危険な個所等を共有する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和元年 11月 29日 (19:30~21:30)
------------------	-----	----------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	松田、村田、谷口、水野、西川、松山、中山 石井、大畑、相原、正岡、日山、谷松
--------------	------	---

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	12	2	2	18

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について理解を深め、必要な方ができたときに活用できるようにする。 ・虐待という面で、本人の意思に反していないか、身体的な側面、精神的な側面からよく考え普段の支援につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度については何人かのスタッフしか理解できていない。 ・普段の支援の中で、身体拘束につながっていないか考えることができた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	4	1	0	18
②	虐待は行われていない	15	3	0	0	18
③	プライバシーが守られている	10	7	1	0	18
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	2	8	18
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	4	2	1	18

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思、家族の意思も大事にしている。 ・身体拘束、虐待は全く行ってない。 ・プライバシー、個人情報の管理もできている。 ・身体拘束は職員会で討議したり、勉強会を行っている。 ・行っていることが拘束ではないか考えながら行っている。 ・成年後見制度について司法書士の先生から説明を受け、自分でもいろいろ勉強できた。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について理解できていない。 ・利用者の行動を制限することが、理由はあったにしても精神面を考えると一人で答えを出すのは難しい。 ・個人ファイルが開きっぱなしになっていてプライバシーが守られていない。 ・拘束や虐待についての十分な知識がないため、できていない場面を見たり聞いたりすることがある。 ・介助者の余裕がなく、スピーチロックしている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイルの管理に気をつける。 ・個人の情報を話す際は他利用者に配慮する。 ・普段の支援が、身体拘束や虐待につながっていないか常に考察する。 ・成年後見制度についての勉強会を行う。 	